

福岡座禅道場俳句会九月句会結果

天

地地地地

心地よく晴れて栗のご飯かな (霊峰)

行過ぎてほたりと落ちた栗小枝 (真光)

延長五十回高校野球や天高し (寶州)

田一枚縁取りにけり曼珠沙華 (霊峰)

雲のさま変わって見える彼岸かな (瑞雲)

爽やかや卒寿老師の高笑ひ (浄淵)

目をやれば赤絨毯や彼岸花 (無傳)

秋季語のページに葉亡母のメモ (白堂)

励まされふと踏みしめる朝のつゆ (真光)

爽やかや全て忘れし母の笑み (浄淵)

すべすべと博多端切れは紅葉色 (白堂)

作務おえてうまさもうまし梨の味 (無傳)

- 1 行過ぎてほたりと落ちた栗小枝 (真光) 4
- 2 出湯路に降るが如くの姫リンゴ (白堂) 1
- 3 雨つづきいまどうしてるセミの宿 (瑞雲) 1
- 4 真つ直ぐに立ちし稲穂よ初々し (寶州) 1
- 5 爽やかや卒寿老師の高笑ひ (浄淵) 3
- 6 黙とうのすめば球音終戦日 (宗道) 1
- 7 「妖精の乳首」てふ名の葡萄かな (霊峰) 2
- 8 登り来て城址はただ薄紅葉 (白堂)
- 9 風すずし夏もおわりかトンボ舞う (瑞雲) 2
- 10 延長五十回高校野球や天高し (寶州) 4
- 11 秋刀魚焼く春夫の詩をつぶやく (浄淵) 2
- 12 朝顔のぴんと張りたる気力かな (宗道) 1
- 13 目をやれば赤絨毯や彼岸花 (無傳) 3
- 14 摺心の名残の風や翳雲 (霊峰) 1
- 15 ゆく夏やなにかしたしきセミの声 (瑞雲) 2
- 16 境内は作務ですつきり彼岸花 (寶州) 1
- 17 爽やかや襷掛けなる老典座 (浄淵)
- 18 朝顔の重なり合ふて萎れけり (宗道) 1
- 19 心地よく疲れて栗のご飯かな (霊峰) 5
- 20 あらたのし月真つすぐの光降る (真光) 1
- 21 秋季語のページに葉亡母のメモ (白堂) 3
- 22 いきなりにおはぎ食いたし彼岸かな (瑞雲) 1
- 23 名月もすつかり忘れ摺心会 (寶州) 1
- 24 秋刀魚焼く猫背を妻に諫めらる (浄淵) 2

- 25 警策の折れし響きや虫の声 (霊峰) 2
- 26 あおさぎや池にくつきり影落とす (宗道) 1
- 27 田一枚縁取りにけり曼珠沙華 (霊峰) 4
- 28 雲のさま変わって見える彼岸かな (瑞雲) 4
- 29 励まされふと踏みしめる朝のつゆ (真光) 3
- 30 記念式轟く会歌菊の花 (寶州)
- 31 爽やかや全て忘れし母の笑み (浄淵) 3
- 32 彼岸花ばつと開いてすまし顔 (宗道)
- 33 すべすべと博多端切れは紅葉色 (白堂) 3
- 34 昨務おえてうまさもうまし梨の味 (無傳) 3

霊峰の怠惰から発表が遅れました。

誠に申し訳ありません。以後気をつけます。

次回投句締め切りは、

十月二十六日(日)といたします。

